



令和7年6月27日
 (公財)横浜市芸術文化振興財団
 横浜美術館

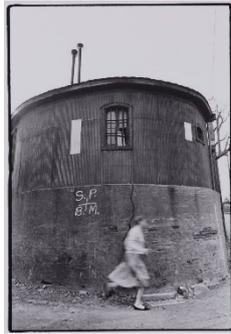
戦後80年特集展示を中心に3つのテーマで紹介

横浜美術館コレクション展 2025年6月28日(土) - 11月3日(月・祝)

- ・戦後80年特集展示「平和であることへの、控えめななにごとかを」
- ・奈良原一高「Blue Yokohama」
- ・ハイライト「サルバドール・ダリ、ポール・セザンヌ、奈良美智」



北脇昇《眠られぬ夜のために》(習作) 1937年
 油彩、カンヴァス 40.9×53.0 cm



奈良原一高
 〈Blue Yokohama〉1959年(1994年のプリント)
 ゼラチン・シルバー・プリント
 31.1×21.3 cm
 奈良原一高アーカイブズ寄贈
 ©NARAHARA IKKO ARCHIVES



ポール・セザンヌ
 《ガルダンヌから見たサント=ヴィクトワール山》
 1892-95年 油彩、カンヴァス 73.0×92.0 cm

「佐藤雅彦展」と同時開催のコレクション展では、会期中に終戦記念日を迎えることから、戦争と美術をテーマに構成します。

戦後80年特集展示「平和であることへの、控えめななにごとかを」では、終戦80年の節目に、コレクション作品約115点を通して、戦争や社会と向き合いながら作品を生み出したアーティスト、写真家たちの足跡をたどります。

また、この展示に加え、休館中に収蔵した作品の中から、写真家の奈良原一高が1959年に横浜を撮影した〈Blue Yokohama〉全43点を初展示します。

さらに、当館所蔵の「名品」を紹介するハイライトのコーナーが新登場。今回は、当館を代表するダリ、セザンヌ、奈良美智の作品を展示します。このコーナーでは、3人の作品に見られる共通点を解説するとともに、親子で作品を楽しむための「子ども解説」もご用意して、皆様をお迎えいたします。

※詳細は添付資料をご参照ください。

会期	2025年6月28日(土)～11月3日(月・祝)
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)
休館日	木曜日
主催	横浜美術館 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
観覧料	一般 500 (400) 円、大学生 300 (240) 円、高校・中学生 100 (80) 円、小学生以下無料 ※()内は有料20名以上の団体料金(要事前予約、美術館券売所でのみ販売) ※毎週土曜日は、高校生以下無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料 「佐藤雅彦展」ご観覧当日に限り、「佐藤雅彦展」の観覧券で「コレクション展」、「アーティストとひらく」もご覧いただけます。
問合せ	横浜美術館 045-221-0300 (代表)

※この機会に広くご報道いただければ幸いです。

本件についてのお問合せ先 *本日は17時15分まで在席しております。

横浜美術館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】	横浜市西区みなとみらい3-4-1	Tel 045-221-0300(代表)
経営管理グループ	担当グループ長	Tel 045-221-0368
	広報担当	Tel 045-221-0319
	水谷	
	高野、高橋、岩見屋	

Press Release

2025年6月27日

横浜美術館コレクション展

2025年6月28日（土）－11月3日（月・祝）

- ・ 戦後80年特集展示「平和であることへの、控えめななにごとかを」
- ・ 奈良原一高「Blue Yokohama」
- ・ ハイライト「サルバドール・ダリ、ポール・セザンヌ、奈良美智」

2025年、日本は終戦80年を迎えます。「佐藤雅彦展」と同時開催のコレクション展では、会期中に終戦記念日を迎えることから、戦争と美術をテーマに構成します。

展示タイトル「平和であることへの、控えめななにごとかを」という言葉は、休館中に新しく作品を収蔵したアーティスト、戸村浩（1938-2025）によるものです。日中戦争の時代に中国で生まれた戸村は、家族の誰も失うことなく戦争を生き抜いた半生を振り返り、アーティストとして自身がやるべきことをこの言葉であらわしました。この展示では、争いの時代を生きるアーティストたちが、いかに戦争や社会と向き合い、不平等や暴力に抗う表現を生み出してきたのかを辿ります。

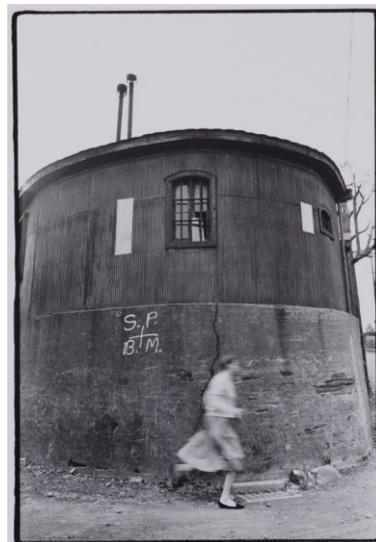
また、この展示に加え、休館中に新たに収蔵した作品の中から、写真家の奈良原一高が1959年に横浜を撮影した〈Blue Yokohama〉全43点を初展示します。〈Blue Yokohama〉は、初個展「人間の土地」（1956年）、それに続く「王国」（1958年）を経て始められた、奈良原の初期シリーズです。在日米軍の住宅地で遊ぶ子どもたち、当時の中華街に暮らす人々、真夜中の港に停泊する外国船など、多様な文化が混ざり合う横浜の姿が、観るものを未知の世界へと誘う、奈良原の詩情あふれるまなざしで写し出されています。

加えて、当館の「名品」を紹介するハイライトのコーナーをこのたびはじめて設けます。今回は、当館を代表するダリ、セザンヌ、奈良美智の作品を展示します。また、このコーナーでは、それらの作品を親子で楽しむための「子ども解説」もご用意して、皆様をお迎えいたします。

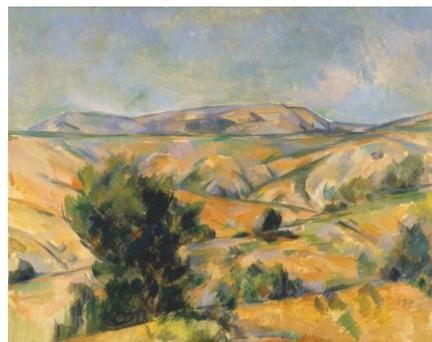
さらに、コレクション展の1室では、リニューアル後初のプログラムとして、新進アーティストとコレクションのコラボレーションによる小企画「アーティストとひらく 戸田沙也加展 沈黙と花」を同時開催します。



北脇昇《眠られぬ夜のために》(習作) 1937年
油彩、カンヴァス 40.9×53.0 cm



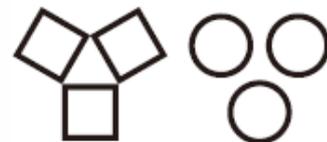
奈良原一高〈Blue Yokohama〉1959年（1994年のプリント）
ゼラチン・シルバー・プリント 31.1×21.3 cm
奈良原一高アーカイブズ寄贈
©NARAHARA IKKO ARCHIVES



ポール・セザンヌ
《ガルダンヌから見たサント＝ヴィクトワール山》1892-95年
油彩、カンヴァス 73.0×92.0 cm

横浜美術館

Press Release



出品作家

・戦後 80 年特集展示「平和であることへの、控えめななにごとかを」
ロバート・キャパ、ハンス（ジャン）・アルプ、マックス・エルンスト、クルト・シュヴィッターズ、ジョージ・グロース、マン・レイ、メレット・オッペンハイム、アンドレ・マッソン、ジョン・アームストロング、ルイ・マルクーシ、ジョアン・ミロ、パブロ・ピカソ、ウラジーミル・タトリン、アレクサンドル・ロトチェンコ、オットー・ディックス、ジョルジュ・ブラック、福沢一郎、斎藤義重、北脇昇、岡田謙三、宮崎進、浜田知明、鶴岡政男、原田正路、イサム・ノグチ、沢田教一、河口龍夫、戸村浩、風間サチコ

・奈良原一高「Blue Yokohama」
奈良原一高

・ハイライト「サルバドール・ダリ、ポール・セザンヌ、奈良美智」
サルバドール・ダリ、ポール・セザンヌ、奈良美智、フィリップ・ハルスマン、ルネ・マグリット

*順不同



奈良原一高〈Blue Yokohama〉1959年
(1994年のプリント)
ゼラチン・シルバー・プリント
31.0×21.2 cm
奈良原一高アーカイブズ寄贈
©NARAHARA IKKO ARCHIVES

みどころ

①終戦 80 年の節目に、当館所蔵作品約 115 点を展示し、戦争や社会と向き合いながら作品を生み出したアーティスト、写真家たちの足跡をたどります。そして、この展示に呼応するかたちで、「アーティストとひらく 戸田沙也加展 沈黙と花」を同時開催します。

②奈良原一高の生前、写真集になることのなかったシリーズ〈Blue Yokohama〉。休館中に収蔵したプリント全点を初展示します。また会期中には、本シリーズが掲載された写真集『Tokyo, the`50s/Blue Yokohama』(復刊ドットコム、2025年7月下旬)が刊行予定です。

③横浜美術館の「名品」を紹介するハイライトコーナーが新登場。サルバドール・ダリ、ポール・セザンヌ、奈良美智…。この3人の作品に見られる共通点を分かりやすい解説でご紹介します。また、親子で作品を楽しむための「子ども解説」もあります！ぜひ展示室でお楽しみください。



ロバート・キャパ
《エル・ゲタル、チュニジア》
1943年3月(1985年の再プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント
27.0×25.4 cm



沢田教一《十字架、テト攻勢》1968年2月15日(1986年の再プリント) ゼラチン・シルバー・プリント
21.8×32.4 cm



福沢一郎《未完成交響楽》1930年
油彩、カンヴァス 114.6×80.0 cm

横浜美術館

Press Release



関連イベント

・ギャラリートーク

さまざまな切り口で、学芸員やエドューケーターが作品の見どころや楽しみ方を紹介します。

- 日時 ①2025年7月18日（金）14：00～14：30
②2025年8月2日（土） 11：00～12：00（英語通訳付き）
③2025年8月22日（金）14：00～14：30
④2025年8月30日（土）11：00～11：45（手話通訳付き）

会場 3F コレクション展展示室

参加費 無料（申込不要、当日有効の観覧券が必要）

基本情報

横浜美術館コレクション展

- ・戦後80年特集展示「平和であることへの、控えめななにごとかを」
- ・奈良原一高「Blue Yokohama」
- ・ハイライト「サルバドール・ダリ、ポール・セザンヌ、奈良美智」

会場	横浜美術館（横浜市西区みなとみらい3-4-1） ギャラリー4（戦後80年特集展示） ギャラリー5（アーティストとひらく） ギャラリー6（奈良原一高、ハイライト）
会期	2025年6月28日（土）～11月3日（月・祝）
開館時間	10:00～18:00（入館は閉館の30分前まで）
休館日	木曜日
主催	横浜美術館（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
観覧料	一般500（400）円／大学生300（240）円／中学・高校生100（80）円／小学生以下無料 （ ）内は有料20名以上の団体料金（要事前予約、美術館券売所でのみ販売） ＊毎週土曜日は、高校生以下無料 ＊障がい者手帳をお持ちの方と介護の方（1名）は無料 ＊「佐藤雅彦展」ご観覧当日に限り、「佐藤雅彦展」の観覧券で「コレクション展」、「アーティストとひらく」もご覧いただけます。 ＊じゆうエリア（ギャラリー9、グランドギャラリー、3F回廊）でのコレクション展は観覧無料

お問合せ先 横浜美術館 広報担当（高野、高橋、岩見屋）
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL：045-221-0319 FAX：045-221-0317 Email：pr-yma@yaf.or.jp

プレス画像申込

横浜美術館